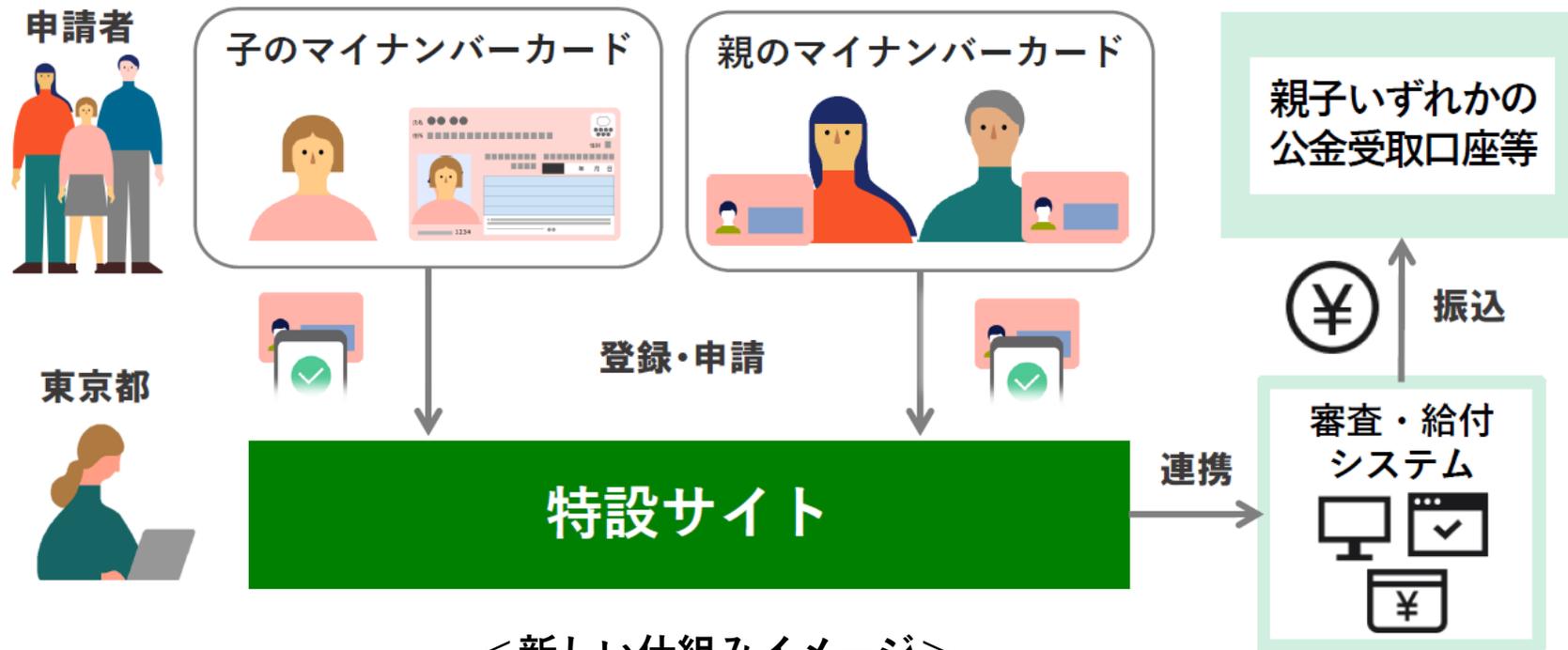


# 「給付金手続の利便性UP」プロジェクトとは

国、自治体の連携のもと、ワンスオンリーの徹底や簡単便利で爆速の手続を実現します。

東京都では、「[018サポート](#)」において、デジタル庁が構築する「自治体向け共同利用型の給付支援サービス」との連携により、親子のマイナンバーカードをスマートフォンで読み取ることで申請できる新しい仕組みを、デジタル庁、東京都、及びGovTech東京と協働して導入しました。



<新しい仕組みイメージ>

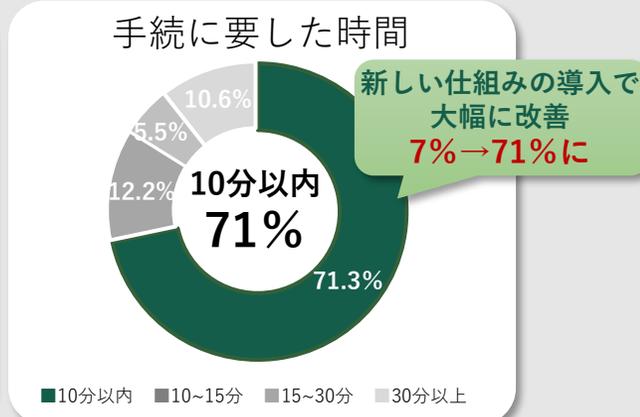
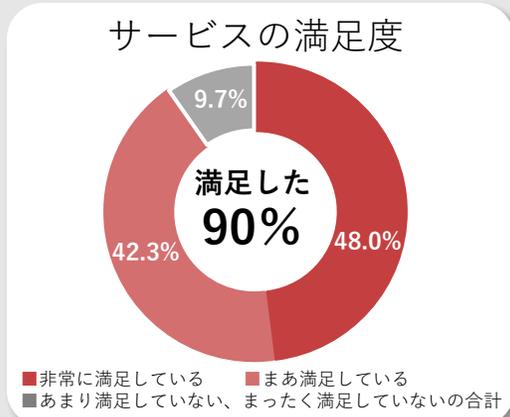


## プロジェクト開始からの取組

- 「018サポート」において、デジタル庁が構築する給付支援サービスとの連携により、マイナンバーカードをスマートフォンにかざすことで申請できる新しい仕組みを導入
- デジタル庁と連携し、自治体に給付支援サービスの利便性を普及するための勉強会を実施
  - ・ 給付支援サービスを導入済み又は導入予定の都内自治体は、東京都に加えて**6自治体** ※12/10時点 ※子育て分野以外含む

## 利用者アンケート結果

- 新しい申請サービスの利用者にアンケートを実施し、サービス改善に活用（回答者数**4,455名**） ※1/31時点



## 保護者の声

マイナンバーカードでできると聞いてやってみたら、とても簡単でした。

出産直後で外出せずにオンラインで完結するのが助かります。

申請後の処理状況、進捗状況の確認ができず分かりにくい。



## 今後の取組

- 引き続き、利用者の意見を聞きながらサービスを改善し、**高い顧客満足度を維持**
- 東京都や区市町村における「**給付支援サービス**」の活用を促進